

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	149	2年	前期	臨床検査学科	選択	生涯発達心理学（共通） Life-Span Developmental Psychology	15	1
担当教員								
仲渡 江美								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
乳児期から老人期にかけての人の発達の特徴を学ぶ。各発達期の基本を理解し、自身の発達を振り返るとともに医療の対象者の心身の構造や機能の発達の变化に関する知識を深める。								
到達目標（授業目標）								
この授業では、人間の知覚、認知、社会性の発達に関する学習を通じて、次の2点ができるようになることを目標とする。								
1 ひとりの人間の中で、それぞれの発達の側面がどのように影響しあい、統合されているかを理解し、発達するとはどういうことかについて、自分なりの考えをまとめられるようになる。								
2 「子どもの発達」を支える基盤について、自分なりの考えを述べるができる。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
1回	発達とは：発達心理学の歴史、遺伝と環境による影響について講義する。							
2回	認知・社会性の発達（1）：乳児期の視知覚能力の発達について講義する。							
3回	認知・社会性の発達（2）：乳幼児期の愛着や親子の絆の形成について講義する。							
4回	認知・社会性の発達（3）：幼児期のことばの獲得やピアジェの認知的発達理論について講義する。							

